

たかはた保育園機能移転に伴う三者協議会の要旨について

1 開催日時及び開催場所

平成 26 年 7 月 25 日（木） むこうじま保育園
午後 6 時～午後 8 時

2 出席者

（1）保護者

三者協議会代表

（2）菊美会

坂田幸子 むこうじま保育園園長 三浦みゆき
むこうじま保育園保育士 神崎

（3）市側

子ども部長 大島 保育課長 高橋
保育課係長 西山 元たかはた保育園園長 小野

3 協議会での話し合いの内容（要旨）について

（1）保護者から（7/16 の保護者会報告）

○別紙のとおり

（2）菊美会から（保護者会報告を受けて）

- ・若い保育士が多くて不安という声が多いが、若い保育士も頑張っており、4月から成長している。夏の期間は研修でスキルアップを図る。菊美会としての研修、外部研修等のプログラムを組んでいる。また、公立保育園の研修にも参加している。
- ・現在は、たかはた保育園からの出向者が不在の時もクラス運営に支障は出ていない。
- ・ホームページ開設はまだだが、毎日の様子は掲示板で詳しく伝えるようにしている。ホームページを開設しても毎日更新できないので、毎日の様子を確認するには掲示板を見てもらう事になる。

（3）質疑応答

- ・むこうじま保育園でネット検索すると求人情報ばかり出てくるが大丈夫か
→「むこうじま」という名前を使っている保育園は他にもあるので間違えでは？
（補足）後日調査したところ、むこうじま保育園の求人情報は出てくるが、ページの最後に「現在は募集していません」との注意書きがあった。
- ・たかはた保育園では、朝夕の支度の時などに保育士と雑談をしながらコミュニケーションをとっていた。朝の支度やお迎えの引き取り方法が違うことなどで、保護者にコミュニケーションの取り方に戸惑いがあるのではないか。
→園としてもコミュニケーションを取りたいと思っている。いつでも部屋に入ってきて

話をしてもらいたい。

→おたより帳や掲示板を活用するように再度周知（園から・保護者会から）したり、意見ポストを設置するなど、お互いにコミュニケーションがうまく取れる方法を模索し、保育園と保護者が早く慣れるようにしていく。

・乳児クラスの保育参観は来年度以降もないのか？

→菊美会としてはやっていない。来年度以降も実施する予定はない。

・保護者も、若い先生が頑張っているのは分かっているが、相談するには頼りない気がしてしまう。質問に対して答えがすぐに返ってこない。

→その場で返答するのは新人には難しいが、翌日には必ず回答するようにしている。その子の事を一番わかっているのは担任なので、まず担任や主任が相談の窓口になるが、必要な時は事務所の先生や他の先生にも相談してもらいたい。

・若い先生は怒り方を知らないのでは

→怒り方は子どもによって一番良い方法が違う。怒っていい子もいれば分かりやすく説明したほうがいい子もいる。担任は、その子に合う方法を選択している。

・7/16に開催された保護者会の時に利用した延長保育料は日野市が負担しないのか

→原則は保護者負担だが、三者協議会の準備のための保護者会という事なので、今回は日野市の負担とする。

（3）日野市から

・合同保育は、機能移転による子どもの不安感解消が目的だった。若い保育士が多くて不安という声はあるが、子どもの不安感解消という合同保育の目的は果たされていると感じる。

・このまま合同保育を続け、保育士が必要以上に多いことで、子どもの自主性やむこうじま保育園の保育士の成長を阻害している等の問題点も出向している保育士から聞いている。

・保育士（むこうじま、出向者）の話や3か月間の様子検証した結果、7月末で合同保育は終了としたい。

・8月からは少しずつ、合同保育の時間を少なくし、9月からは完全にむこうじま保育園での保育を実施してもらいたい。

（4）今後について（結論）

・合同保育の期間は7月末までとする。

・8月は、最終日までかけて少しずつ出向者が来る日数を減らしていく。

・運動会はできるだけ来るが、出向者が配属された保育園と同じ日になる場合は総練習の日に来るなどして対応する。

・出向者の8月の出勤日等は決まり次第、保護者にお知らせする。

・三者協議会の定期的な開催は終了するが、必要に応じて開催することとする。

(5) その他

- ・行事を増やして欲しい
- ・水路側の駐輪場、自転車登降園のマナーについて